

みんなの笑顔



クリスマスツリー点灯式 ～一足早くクリスマス気分になる～

11月8日(金) ミナクル広場

クリスマスツリーの点灯式が行われた。光の子保育園の園児10人が「もろびとこぞりて」を歌い上げると広場は一気にクリスマスモードに。園児らがツリーの点灯スイッチを押すとツリーは温かい明かりに包まれ拍手が起こった。

ハンドベルで「きよしこの夜」を演奏し、手話を交えて「おめでとうクリスマス」を歌った園児たち。可愛らしく披露する姿に、見守った保護者や足を止めて聞き入る人たちは目を細め、一足早くクリスマス気分になっていた。



オーケストラ・アンサンブル金沢七尾定期公演プレ・コンサート ～弦楽四重奏の音色に包まれて～

11月5日(火) 七尾中学校

オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)七尾定期公演を前に、OEK弦楽四重奏団が全生徒511人に、モーツァルトの楽曲や東京五輪応援ソングの「パプリカ」など全7曲を披露した。バイオリンやビオラ、チェロが織りなす四重奏は美しく、時には軽やかな音色を奏で、生徒を魅了した。

演奏体験では、吹奏楽部の6人がバイオリンに挑戦。弓の扱いに悪戦苦闘するも、貴重な体験を満喫した。最後に生徒会長の奥田華恵さんが「優しくて、美しい、心温まる演奏でした」と感謝の気持ちを伝えた。



防火キャンペーン ～火災予防を呼び掛ける～

11月10日(日) のとじま水族館

11月9日から15日に行われる秋の火災予防運動に合わせ、七尾鹿島消防本部の職員や山王・田鶴浜・能登島子ども消防クラブ員などが火災予防を呼び掛けた。子ども防火服の試着やポンプ車の乗車体験などが行われ、親子連れでにぎわった。

水族館の来館者にグッズなどを手渡した子ども消防クラブの児童。火災予防の意識を高めてもらおうと、一生懸命大きな声で呼び掛けた。あかくらこども園幼年消防クラブによる演奏が最後を締めくくり、来館者は足を止めて温かく見守った。



七尾市小学校合同音楽会 ～練習の成果をみんなに届けたい～

11月8日(金) 七尾市文化ホール

市内10小学校の4年生373人による音楽会が開催された。開会式では、高教育長が「全員の力を1つに、積み重ねた練習の成果を発揮してください」と激励の言葉を送った。

明るく元気に和太鼓や合唱、合奏を披露する児童たち。緊張した面持ちを見せるも、体全体を使って歌を表現したり、合奏中にダンスを取り入れたりするなど、ひたむきな姿が観客を魅了した。全体合唱では、児童全員で「もみじ」を合唱。373人の歌声が会場に響き渡り、温かく優しい雰囲気にも包まれた。



鵬学園高等学校サッカー部全国大会出場報告 ～全国優勝を目指して～

11月12日(火) 七尾市役所

全国高校サッカー選手権大会石川大会で、3年ぶり2度目の全国大会出場を決めた鵬学園高等学校サッカー部の4人が不嶋市長を訪問した。決勝戦では、延長の末に星稜を2-1で破り優勝を果たした。

赤地信彦監督は「前は悔しい思いをしたので勝つための練習を重ねてきた。全国でも勝ち上がれるチームだと証明したい」と話し、主将の河村怜皇さんは「自分たちの力を出し切って全国優勝したい」と意気込みを語った。先輩が果たせなかった全国1勝だけでなく大きな夢を見据える。



100歳のお誕生日おめでとうございます ～西谷内良秋さん～

11月11日(月) のとじま悠々ホーム

6人兄弟の長男として吉田町で生まれ、自宅では趣味の盆栽いじりを楽しむなどして過ごした良秋さん。現在は施設に入所し、毎日1時間お経を上げたり乾布摩擦をしたりと元気に過ごしている。

お祝いの会では、福島健康福祉部長から花かごが贈られ、施設職員や利用者からは童謡「ふるさと」の合唱が贈られた。良秋さんは少し照れながら感謝を述べ「来年の東京五輪を、施設の皆さんと見ることを目標に頑張ります」と抱負を語った。これからも元気にお過ごしください。



令和元年度七尾看護専門学校戴帽式 ～日々の努力が大切～

11月22日(金) 七尾看護専門学校

看護学科の2年生38人が、看護師になるために必要な科目の履修を終え、戴帽式を迎えた。中村耕一郎学校長は「疑問をそのままにせず、納得して次のステップへ進んでほしい」と厳しい中にも戴帽生の成長を願う思いを口にした。

青木洋子副校長から真新しいナースキャップを受け取り、来週から始まる臨地実習に向けて心を新たに戴帽生たち。戴帽生を代表して佐藤夏奈子さんは「努力を怠らず、向上心を持って学んでいきたい」と一人前の看護師になることを誓った。



園児とふれあい交流 ～思いやりの心を育む～

11月20日(水) 和倉こども園

和倉小学校の4年生28人と和倉こども園の2歳児、3歳児の20人が交流した。和倉小学校では、児童に思いやりの心を育ててもらおうと年3回の交流を毎年行っている。2回目となる今回は、児童がおもちゃを手作りし、園児と一緒に遊んだ。

ボーリングなど児童が工夫したおもちゃで楽しみ、帰り際には「おもちゃを置いていって」とお願いした園児たち。4年生の泉明咲さんは「前は緊張したので、優しく話し掛けるように気を付けた。喜んでもらえてうれしい」と心の成長を見せた。